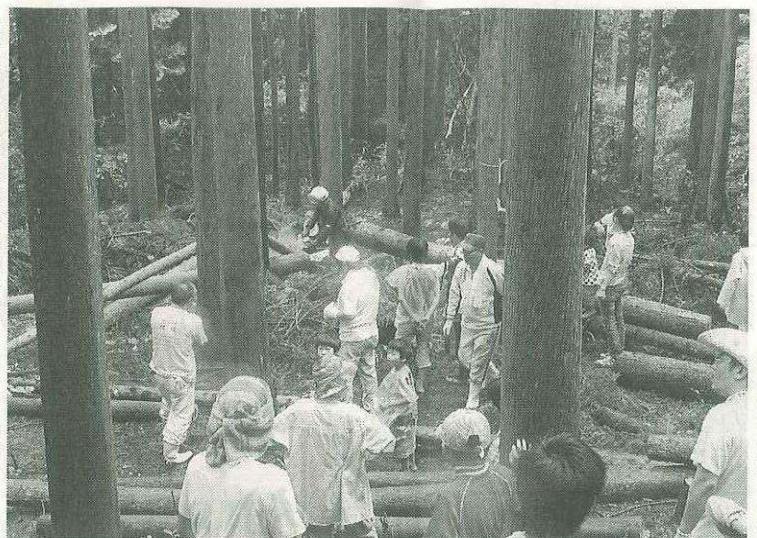


## 第4回山の学習、最後のイベントに60人参加



間伐材の伐採実演。子供たちは息をこらして、木が倒れる瞬間の様子を声をあげ見守っていた

林道と渓流に挟まれた杉の山林で、二ジマスクみ取りイベント現場は林道と渓流に挟まれた、かくて棚田だった後に杉を植林した5ヵほどの山林。階段状になった緩やかな傾斜地で、家族連れが参加する山林としては恵まれた地形

であり、上流には家もなく、清らかな水が流れれる沢の音が常に聞こえる。

伊原社長はそうしたイベントに適していることからその山林を入れ、昨年から山の学習3回、今年は4回開催。学習をしたり休憩場所にもなる舞台小屋も建設、同社のOB客やその知人らに呼び掛け行っている。

そして、上流には家もなく、清らかな水が流れれる沢の音が常に聞こえる。

講師招き、山や森林の大切さも学習

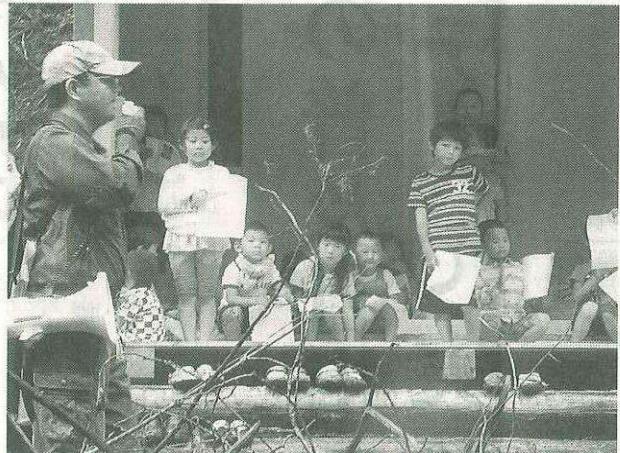
であり、上流には家も

なく、清らかな水が流れれる沢の音が常に聞こえる。

講師招き、山や森林の大切さも学習

であり、上流には家も

なく、清らかな水が流れれる沢の音が常に聞こえる。



平松幸伸先生の「山の学習」

西部 ▷21日(木)西垣名古屋 ▷22日(金)ホルツ三  
27日(水)名古屋国有林 東海西部(56周年記念  
垣名古屋(特売日) ▷30日(月)東海大口 西垣

日(金)四日市木材(特別市) ▷6日(火)鈴鹿木材  
7日(水)ウッドピア市壳 ▷8日(木)美杉木材 ▷  
市壳(製品特別市) ▷12日(月)四日市木材 ▷  
市壳(原木特別市) ▷16日(金)鈴鹿木材 ▷20  
▷21日(水)ウッドピア市壳 ▷22日(木)四日市木材  
市) ▷26日(月)鈴鹿木材 ▷28日(水)ウッドピア



ニジマスの塩焼きやバーベキューを楽しんだ

山に到着するとまずバーベキューの食事に必要な箸づくり体験。自分の食べる箸は各自が作成することになっている。

そして子供たちはニジマスのつかみとり。渓流に網を張り、ニジマスを放流して行う。

そのニジマスを串刺しにして塩焼き、バーベキューと一緒に食べる

ことから、子供たちは木造の舞台の中で話を聞くことになった。

雨まじりの天気だったことから、子供たち

は木造の舞台の中で話を聞くことになった。

震パネルなど独自開発することで、100%住宅を低コストで安定供給できる住宅に進化させ大手と差別化を図り、あいち認証材の需

要拡大を進めているが、今回のよろんな山の学習を通じても地域の山林や木の大さを普及していく

ニジマスの塩焼きやバーベキューを楽しんだ

が、今回のよろんな山の学習を通じても地域の山林や木の大さを普及していく

と生まれないことなど山を中心とした生態系を小さな子供たちに理解させるのに、ひと苦労があった。

あいち認証材を使った独自工法の家づくりをしている地域ビルダー株明城(愛知県安城市、榎原勝己社長)は、子供たちに山や森林の素晴らしさをよく知つてもうおうと昨年から「山の学習」を行っており、今年も4回にわたり新城市作手の榎原社長の私有林で間伐材の伐採実演、生態系学習や木工工作の箸づくりなど体験学習を行った。その後の第4回目の山の学習が21日、雨まじりの中で家族連れ約60人が参加して賑やかに行われた。このイベントは、今年の「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進交付金事業」に採択されている。

## 板倉工法と土壁の100%自然素材の家 明城

杉の山林で間伐材伐採や学習会

小学低学年から幼稚園児が多く、平松先生は山や木の話を桃太郎の童話を引き合いに出し、芝刈りや下刈りの違いを説明したり、写真のように子供たちを植林した木の代わりに立たせ、なぜ下刈りが必要か分からせるのに工夫を凝らしていた。

児が多く、平松先生は山や木の話を桃太郎の童話を引き合いに出し、芝刈りや下刈りの違いを説明したり、写真のように子供たちを植林した木の代わりに立たせ、なぜ下刈りが必要か分からせるのに工夫を凝らしていた。そして、きれいな水や空氣は山に木が無い解aserるのに、ひと苦労の様子だった。同社は耐震壁倍率3・9の土壁パネルはじめ床、間仕切り用の耐

**厚バリ化粧柱**  
吉野株式会社 櫻井

TEL 052-631-1056  
FAX 052-631-1852